

2025 年度(令和 7 年度) 事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 植物工場研究会

特定非営利活動に係る事業

理事会/総会
■理事会 2025 年 6 月 4 日 10:00-10:50(日本時間) 理事総数 20 (議決:理事総数の過半数) 出席数 理事 20 名(内訳 Zoom による出席 16 名、書面表決書出席 3 名、委任状出席 1 名)、監事 1 名 第 1 号議案 2024 年度 事業報告書(案)(総会付議事項) 第 2 号議案 2024 年度 決算報告書(案)(総会付議事項) 第 3 号議案 2025 年度 事業計画書(案)(総会付議事項) 第 4 号議案 2025 年度 活動計算書(案)(総会付議事項) 第 5 号議案 理事の選任(案) 第 6 号議案 監事の選任(案)(総会付議事項) 第 7 号議案 2025 年度通常総会議題(案) 以上、全議案について原案の通り承認された。 ■総会 【通常総会】2025 年 6 月 17 日 13:30~14:35 (日本時間) 社員総数 178 (定足数:正会員等総数の 2 分の 1 以上) 出席数 110 名(内訳 対面出席 9 名、Zoom による出席 24 名、電磁的方法等による書面表決書出席 29 名、電磁的方法等による委任状出席 48 名) 第 1 号議案 2024 年度 事業報告書(案) 第 2 号議案 2024 年度 決算報告書(案) 第 3 号議案 2025 年度 事業計画書(案) 第 4 号議案 2025 年度 活動計算書(案) 第 5 号議案 監事の選任(案) 以上、全議案について原案の通り承認された。
JPFA 植物工場国際シンポジウム
NPO 植物工場研究会主催の第 2 回 JPFA 植物工場国際シンポジウム(The Second JPFA International Symposium on Plant Factory)を 2025 年 9 月 1 日~2 日に柏の葉カンファレンスセンターおよびオンラインにて開催(協賛:千葉大学園芸学研究院附属宇宙園芸研究センター/千葉大学環境健康フィールド科学センター)。国内外約 20 か国の研究機関や企業などから約 250 名が参加。持続可能な未来に向け、多様な目的・用途を有する人工光型植物工場の活用方法・役割・技術課題と方向性、地球生態系の一員として植物工場を用いた社会活動、多様で柔軟な食料・植物生産システムの可能性について、「住むだけで健康」を目指す柏の葉スマートシティにてオープンディスカッション・国際共創を目指し第 2 回 JPFA 植物工場国際シンポジウムを開催した。 <特設ウェブサイト> 日本語:https://npoplantfactory.org/jpfasympposium2025/ 英語:https://npoplantfactory.org/jpfasympposium2025-en/ <プレスリリース> https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000123796.html (2025 年 8 月 15 日)
柏の葉市民との共創
柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)などと協調し、UDCK 主催の小学生向けイベント「スマートシティと夏休み」の一環として 2025 年 8 月 4 日に植物工場について学ぶ見学イベントを実施した。さらに 2025 年 11 月 7 日には、柏の葉の学生向け教育旅行にて小学生を、2025 年 12 月 12 日には環境フェスタ in 柏の葉の一環として一般市民を、植物工場見学会にて受入れた。そのほか、UDCK 関連イベントである 2025 年 6 月 29 日開催「農あるピクニック」では、コンソーシアムメンバーの協力も得て、同企画で使用する食材として、植物工場産のレタス類を提供した。 また、2023 年度より連携が開始されたラグビースクールジャパンの教育プログラムの一環として、アートの授業で植物工場をテーマにした絵画作品を生徒が制作した。また、絵画作品に加え、同じくアートの授業で生徒が制作した英語と日本語の植物工場に関する絵本を第 2 回 JPFA 植物工場国際シンポジウムにて展示した。
柏の葉ライフサイエンス協議会
柏の葉にて 2022 年に発足された柏の葉ライフサイエンス協議会に引き続き参画し、月例開催のミーティングなどで地域に関する理解と共創に向けた議論を深めるとともに、植物工場関連の取り組みを紹介し、国際シンポジウムに向けた連携について協議した。第 2 回

JPFA 植物工場国際シンポジウムでは、柏の葉スマートシティルームを特設し、柏の葉の街での取り組みを紹介した。そのほか、2025 年 5 月 20 日に柏の葉カンファレンスセンターにて柏の葉で活躍する研究者の交流を促進し、新たなインスピレーションを刺激することも目的に開催された第 2 回コウリュウノハにて活動および研究を紹介、また、2026 年 3 月 25 日開催の柏の葉ライフサイエンス協議会第 5 回総会に参加するなど街との連携を深めた。

研究開発事業

■脱炭素化に向けた園芸施設の空調システムの開発、実用化

脱炭素化に向けたヒートポンプの活用方法ならびに太陽熱利用法などに関する開発支援および検討を行った。

■植物フェノタイピングを活用した次世代型植物工場に関する研究・開発

植物フェノタイピングを活用した次世代型植物工場に関する研究・開発を継続的に実施し・成果を発表した。

■委員会

1) 植物照明 LED 調査研究委員会

2015 年 10 月 5 日発足。人工光型植物工場における LED 照明に関する基本的事項を調査研究対象とする。委員は、LED 関連メーカー企業、LED 植物工場企業、大学、研究所、および委員会が必要とした者で構成される。委員は、NPO 植物工場研究会関係者などには限定しない。(委員構成別紙)

国際標準化(IEC)の国内対応機関である日本照明工業会からの委託を受け、園芸照明標準化における技術的助言をしている。

IEC では 2024 年 2 月に園芸用 LED ランプに関する 2 件の国際規格を公開した。

IEC 63403-1&2 「Horticultural lighting – LED packages for horticultural lighting」

IEC では現在、園芸用 LED のモジュール、ランプ、器具の安全性と性能に関する標準化を審議中である。

注)IEC は電気及び電子技術分野の国際標準化を担当し、ISO はそれ以外の全産業分野の国際標準化を担当している。

2) 次世代植物工場調査研究委員会

2020 年 8 月 20 日発足。SDGs(Sustainable Development Goals)、ESG(Environmental, Social, Governance)への貢献を目標とした次世代の人工光型植物工場 (Plant Factory with Artificial Lighting, PFAL)に関する調査研究を実施。主に分科会における栽培実験・分析・検討を行った。(委員構成別紙)

3) エネルギー自律型園芸施設調査検討委員会の企画・検討

商業電力の供給停止時においても自然エネルギー(日射、風力、水力、地熱等)による発電量だけで園芸施設がほぼ正常に稼働するシステムの諸元を提供する方法を提案することを目的に調査研究活動を行う準備を開始し、検討会を開催した。

■発表等

<論文・学術誌など>

1) Hayashi, E. (2025). Plant factories in Japan –history, current status and perspectives towards a more sustainable society. *Chronica Horticulturae*, Vol. 65, 16–20.

2) Kozai, T., Nakaoka, H., Lu, N., Nguyen, D., and Hayashi, E. (2025). Research and Development Challenges Faced by Plant Factories to Solve Global Problems: From the Perspectives of Civilization and Culture. *Horticulturae* 2025, 11(7), 793.

doi.org/10.3390/horticulturae11070793

3) 中岡 宏子, 林 絵理(2025)大麻草採取栽培をめぐる法改正と今後の展望. 農業および園芸 Vol. 100(4), 299–303.

4) 林 絵理(2025)現在および未来の植物工場：植物工場と共にある持続可能な社会に向けて—Current and future of Plant Factories with Artificial Lighting (PFALs)—. 特集 人工知能と今後の農業技術 アグリバイオ Vol. 9(1), 19–23.

<国内外の学術会議、シンポジウムなどでの招待講演/講義など>

1) The Agential AI AgBio conference, Bangkok, Thailand: The Panel Discussion “AI’s Vertical Leap: Transforming Tomorrow’s Food Factories”, Hayashi E., May 7, 2025

2) 第十四回北京市蔬菜新品种・新技术・新装备科学技术示范活动, 北京, China: 「世界における植物工場の技術動向～植物工場の社会的・文化的な普及に向けて～」林 絵理, May 26, 2025

3) Grow with Intelligence organized by Hoogendoorn Growth Management, Expo 2025, Osaka, Japan: Round-table “Insights from Japan’s horticultural leaders”, Hayashi E., June 10, 2025

4) 「植物工場の現状と課題」林 絵理, 大阪公立大学, 令和 7 年度スマートグリーンハウス人材育成研修第 1 回 2025 年 7 月 29 日

5) SMART AGRI DAY 2025, BIOTEC, Thailand (Online): “The next generation plant factories with artificial lighting(PFAL) –from local to global technology–”, Kozai T., Aug. 28, 2025

6) 「シンポジウム: 自然エネルギーと新しい農業が生み出す近未来を語る～有機薄膜太陽電池と植物工場のコラボレーションが生み出す 2050 年の未来～」古在 豊樹, 我孫子市街づくり交流会主催 2025 年 8 月 28 日

- 7) パネルディスカッション「環境制御型農業生産に貢献する SPA 学術研究の展望」林 絵理, 日本生物環境工学会・日本学術会議共催 日本学術会議公開シンポジウム「Speaking Plant Approach 2.0 ～農業生産現場実装と学術の次なる挑戦～」2025 年 9 月 16 日
- 8) The First International Digital Rural Forum, Suqian University, Jiangsu Province, China (Online): “The Next Generation Plant Factories with Digital Transformation (DX)”, Kozai T., Sept. 26, 2025
- 9) Vertical Farming World Congress 2025, Amsterdam, the Netherlands: Panel Discussion “Shaping Public Policy”, Hayashi E., Oct. 8, 2025
- 10) 「植物工場の現在地と日本の技術力～国内外の技術・事業動向と将来性」林 絵理, バイオインダストリー協会 Food Bio Plus 研究会主催 「植物工場に未来はあるのか? ～植物工場の事業化の現在地と今後～」 2025 年 10 月 30 日
- 11) Asia-Pacific Agri-Food Innovation Summit, Singapore: (Session Chair) Panel Discussion “Farm Automation: How Are Robotics and Agri-Tech Transforming Growing Systems?”, Hayashi E., Nov. 6, 2025
- 12) China Greenhouse Horticulture Industry Conference 2025 (中国温室 2025), China: “Latest Advancements and Future Directions of Plant Factories Toward Sustainable Societies”, Hayashi E., Nov. 20, 2025
- 13) Third International Virtual Workshop “Promoting Smart, Sustainable, and Innovative Agri-Tech Solutions to Advance Agri-Food Systems in Saudi Arabia”, Saudi Arabia (Virtual): “Integrating Water, Energy, and Nutrient (WEN) Cycles for Sustainable Agri-Tech Solutions”, Hayashi E. Nov. 26, 2025
- 14) ISHS Hort Forum Episode 9 (Virtual): Panel Discussion “Vertical farming: a fair story versus a fairy tale”, Hayashi E., Jan. 15, 2026
- 15) 「技術的・経済的に持続可能(サステナブル)な植物工場システムの現状と将来性」林 絵理, 農林水産省北陸農政局主催「北陸地域施設園芸シンポジウム in 富山～北陸から始まるサステナ園芸～」 2026 年 3 月 2 日

<その他>

企業との共同研究において、国内特許「遺伝子改変植物の作製方法」(出願人/特許権者: 日本電信電話株式会社、国立大学法人千葉大学、特定非営利活動法人植物工場研究会、特開 2024-171032)を出願中。国内特許「植物の栽培装置」(出願人/特許権者: エスベックミツク株式会社、株式会社 A-Plus、特定非営利活動法人植物工場研究会、特開 2026-004970、特許第 7811614 号)取得。

支援事業(会員支援/千葉大学柏の葉キャンパス植物工場拠点支援)

■連携/支援事業

【コンサルティング/受託研究】技術・事業開発のためのコンサルティングおよび受託研究を実施

【連携】

- ・千葉大学との連携
- ・一般社団法人日本植物工場産業協会との連携
 - － 人工光型植物工場の運営・生産者向け「お悩み相談会」共同開催(2025 年 10 月 22 日)
- ・日本型施設園芸産業革新化ネットワークとの連携
- ・Vertical Farm Daily との連携
- ・シンガポール REPUBLIC POLYTECHNIC との連携
 - － シンガポール視察団受入れおよび研究交流(2025 年 12 月 4 日～10 日)
- ・米国オハイオ州立大学 Ohio Controlled Environment Agricultural Center (OHCEAC)との連携
 - － Introduction to Greenhouse Environmental Control for Crop Production セミナーの会員割引実施
- ・ラグビースクールジャパンとの連携
- ・駐日オランダ王国大使館等との連携
- ・イタリア・ボローニャ大学との連携
- ・超スマート社会推進コンソーシアム(東京科学大)参画
- ・バイオインダストリー協会入会

■学会・展示会への参加/会員特典

- ・AGENTIAL AI AgBio 2025 International Conference and Exhibition(バンコク)2025 年 5 月 6 日～8 日にマーケティングパートナーとして参加、会員割引を実施
- ・2025 生態工学会年次大会(千葉大会)2025 年 6 月 4 日～5 日に協賛団体として参加、会員割引、見学受入を実施
- ・Asia-Pacific Agri-Food Innovation Summit 2025(シンガポール)2025 年 11 月 4 日～6 日にマーケティングパートナーとして協力・参加、会員割引実施

■拠点事業として施設管理・保守および運営管理の支援

- ・共有施設の維持管理

- ・共有施設の運用調整
- ・環境整備
- ・コンソーシアム企業の対応全般(定期巡視・点検、連絡、防災、駐車場管理、廃棄物管理の対応等)
- ・棟別の月次の消費電力の把握及び報告
- ・培養液分析(毎週) * 主にコンソーシアム企業、大学教員、学生のために準備・分析・結果の提供など
- ・農薬・劇毒物管理
- ・コンソーシアム連絡会議の開催 * 専門家の教員との質問会などを同時開催
- ・新規共同研究の依頼に対する調整・交渉など
- ・(相談から入居・運営までの専門的支援)
- ・共同研究プロジェクトマネジメント、サポート
- ・施設・設備の更新等に伴う諸業務
- ・学生・研究者支援など
- ・日々の緊急対応
- ・その他

支援事業(千葉大学柏の葉キャンパス植物工場拠点見学受入れ)

■講義・見学案内

見学のみコース・講義付見学コースを日本語・英語にて実施。見学者の約半数が海外からの訪問者。

2025 年度海外からの見学・講義付き見学受入合計 675 人

【2025 年度見学者数】

JPFA: NPO 植物工場研究会、 単位(人)

見学実施月	JPFA 窓口			コンソーシアム 受入れ	合計
	見学のみ	講義付	小計		
4 月	53	0	53	0	53
5 月	185	0	185	22	207
6 月	236	30	266	4	270
7 月	176	40	216	5	221
8 月	122	107	229	0	229
9 月	184	51	235	4	239
10 月	74	21	95	8	103
11 月	161	71	232	0	232
12 月	69	36	105	0	105
1 月	53	54	107	0	107
2 月	103	15	118	1	119
3 月	103	42	145	0	145
計	1,519	467	1,986	44	2,030
月平均	127	39	166	4	169

事業年度	JPFA 窓口	コンソーシアム 受入れ	合計			
2011 年 6 月～3 月	4,172	855	5,027			
2012 年度	5,878	555	6,433			
2013 年度	4,787	629	5,416			
2014 年度	4,898	350	5,248			
2015 年度	3,918	180	4,098			
2016 年度	4,167	766	4,933	うち海外見学者数		
2017 年度	4,527	535	5,062	見学のみ	講義付き	小計
2018 年度	4,466	134	4,600	1,368	413	1,781
2019 年度	4,283	190	4,473	1,546	322	1,868
2020 年度	528	66	594	3	83	86
2021 年度	636	97	733	0	53	53
2022 年度	1,423	108	1,531	234	105	339

2023 年度	2,575	137	2,712	954	31	985
2024 年度	2,298	63	2,361	879	51	930
2025 年度	1,986	44	2,030	531	144	675
計	50,542	4,709	55,251	5,515	1,202	6,717

【事業年度別見学者数推移】

支援事業(人材開発)

■勉強会

NPO 植物工場研究会主催でオンラインおよび柏の葉会場にて計4回の勉強会を実施した。単位(人)

開催回	勉強会テーマ	視聴期間	JPFA 会員	一般	学生/ 招待者他	計
第 165 回	「施設環境最適化と作物管理へのデータ駆動型アプローチ-米国における試みの紹介」 (6/19 ライブ)	6/20 - 6/30	74	12	7	93
第 166 回	「植物工場における多品目・多品種化、多用途化の可能性」(8/1 ライブ)	8/6 - 8/19	92	22	7	121
第 167 回	「植物工場・施設園芸における育種戦略」 (1/16 対面+オンライン)	1/21 - 2/3	22	15	11	48
第 168 回	「自律型スマート施設園芸～植物環境工学におけるセンシング・情報の可視化・共有化」 (3/12 ライブ)	3/18- 3/30	85	21	14	120
	計		273	70	39	382

【企画セミナー】

・企画セミナー「施設園芸での生産性向上のための栽培戦略と施設・設備（千葉大学柏の葉キャンパス植物工場施設見学付）」を対面およびオンラインにて 2025 年 6 月 23 日に開催。18 名が参加(企画協力:株式会社 Delphy Japan)

■国内研修

千葉大学・NPO 植物工場研究会・日本施設園芸協会共催、および NPO 植物工場研究会主催で実施した。

No	研修名	形態	主・共催	日程	人数
1	ここから始める植物工場の基礎	対面	JPFA	6/24	25
2	効果的な環境制御技術	対面	JPFA	7/16	11
3	メロンの植物工場栽培の可能性	対面	農水	8/6	23
4	培養液管理の基礎と実践	対面	JPFA	2/18-2-20	21
5	間違いだらけの環境制御	対面	JPFA	9/26	11
6	水耕葉菜類を栽培して培養液管理と一連の作業を学ぶ	対面	農水	10/9-10 10/30-31	7
7	大規模グリーンハウスの黒字経営のために、現場で実際に取り組んでいること	対面	農水	11/11	21
8	今すぐ利益を出せる人工光型植物工場の注目ポイント	対面	JPFA	11/26	13
9	温室環境の計測とデータ活用	対面	JPFA	12/10	12
10	果樹作物別【イチジク、ブドウ】養液・根域制限栽培研修	対面	JPFA	12/18	15
11	日射比例式灌水システム作成実習	対面	農水	1/23	4
12	誤った植物工場技術【人工光型植物工場編】	対面	JPFA	2/5	7
R1	ここから始める人工光型植物工場の基礎	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	9
R2	これだけは身につけておきたい培養液管理法【基礎編】	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	12
R3	培養液管理のスマート化に必要な技術 培養液管理法【上級編・実用編】	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	2
R4	栽培作物別研修【トマト】	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	3
R5	対策は病原菌と害虫の基礎と実体を知るところから始まる-病害虫の基礎知識と検出法, 対策法-	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	1
R6	栽培作物別研修【果樹】	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	3
R7	栽培作物別研修【葉菜類】	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	4

R8	人工光型植物工場【イチゴ】	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	10
R9	栽培作物別研修【イチゴ】(太陽光型)	リクエスト Web	JPFA	6 月～3 月	7
R10	ここから始める太陽光型植物工場の基礎	リクエスト Web	JPFA	9 月～3 月	2
R11	花き類の養液栽培・養液土耕	リクエスト Web	JPFA	9 月～3 月	0
21	【依頼型】個別培養液フォローアップ研修/培養液分析		JPFA	個別対応	10
22	【依頼型】出前型対面研修	対面	JPFA	個別対応	3
	計				236

JPFA:NPO 植物工場研究会

農水:千葉大学・NPO 植物工場研究会・日本施設園芸協会共催

注記) 対面型、リクエスト開催 Web・オンデマンド配信型、依頼により企画、の 3 種類の開催方式にて実行した。リクエスト開催 Web・オンデマンド配信は、10 日間の視聴期間とした。

企画・国際事業

■国際研修

植物工場に関する国際研修(言語:英語):オンラインでの研修に加え、ビジネスに特化した対面型の人工光型植物工場に関する国際研修ならびに日本の多様なイチゴ品種なども扱うイチゴにおける対面型の国際研修を実施。世界各地より 22 名が参加。

- ・2025 年 9 月 4 日～5 日“JPFA Interactive Onsite Training Course on Plant Factories with Artificial Lighting (PFALs)”実施
- ・2026 年 3 月 5 日～6 日“JPFA Strawberry Training Course”実施
- ・オンライン国際研修 Introductory Online Training Courses on Plant Factories with Artificial Lighting (PFALs)を常時継続

■一般社団法人日本施設園芸協会「令和 7 年度スマートグリーンハウス展開推進の業務(施設園芸・植物工場の全国実態調査・優良事例調査)」を受託、実施

施設園芸・植物工場の全国実態調査・優良事例調査を実施。全国の施設園芸および植物工場事業者に対しアンケート調査を実施するとともに優良事例調査先への視察調査を実施し、調査結果の分析ならびに報告書を作成。

<https://jgha.com/wp-content/uploads/2026/03/TM06-07-bessatsu1.pdf>

■海外研修生の受け入れ

オハイオ州立大学(米国)の修士課程修了学生 1 名の受け入れ(3 か月間)。

■海外向け広報

ソーシャルメディアによる英語情報発信(イベント案内・報告など)、ウェブサイトおよびメール配信による国際シンポジウム、英語の国際研修、勉強会、ニュース&イベント、書籍や記事などに関する案内・情報発信など。

■国際連携

- ・海外プロジェクトへの参画・支援、国内外の市場および技術動向調査、海外展開促進・国際連携に向けた活動の実施
- ・オランダのメディア Vertical Farm Daily (VFD) と情報共有の強化、相互の顧客基盤の拡大を目的とし連携継続
- ・国内外対応(ビジネスマッチング、コンサルティング要請、国内・海外市場調査、研修プログラム要請、その他)に伴う会議および企画対応
- ・海外会員誘致による新規入会促進
- ・国内外における標準化案策定への協力・連携
- ・海外の政府・教育機関および関連組織との連携活動に向けた準備
- ・国際研究プロジェクトにおける連携に向けた準備
- ・デジタルコンテンツ・サービスの充実化
- ・国内向け海外情報の発信:電子媒体による配信、各種講演会での講演など
- ・海外企業と国内会員企業のマッチングおよび連携促進
- ・NPO 植物工場研究会企画・国際部ニュースの配信
- ・研究および普及活動に関する国際連携の企画・検討・実施
- ・海外拠点スタッフの探索・連携

■古在豊樹先生文化功労者顕彰を祝う会

2025 年 4 月 26 日に柏の葉カンファレンスセンターにて「古在豊樹先生文化功労者顕彰を祝う会」開催
(発起人:後藤 英司、百原 新、渡辺 均、林 絵理)

広報事業

■マスコミ対応/メディア掲載

取材日	掲載日 放映日	媒体	媒体名	内容
2024/4/11	2025/5/5 2025/5/12 2025/5/26	オンラインジャーナル	アグリジャーナル	【植物工場ビジネスの概要を徹底解説】重要なのは設備のスペックよりも、植物が求めている環境 【植物工場ビジネスの概要を徹底解説】おすすめの栽培品目は？ ビジネス成功に重要なのは”適した育種” 【植物工場ビジネス参入ポイント】補助金はどのように活用すべきか？ 持続可能性のあるシステム構築へ インタビュー対応:古在豊樹、林絵理
2025/8/1		新聞	農経新報社	第 166 回勉強会
2025/9/1 ～9/2	2025/9/1 2025/9/2 2025/9/3	オンラインジャーナル	Vertical Farm Daily(蘭業界誌/ウェブ)	90% of vertical farms produce lettuce, the remaining 10% other crops JPFA Symposium comes to an end Photo report: 2nd JPFA Symposium, Chiba Japanese vertical farms can't escape rising labor and energy costs
	2025/9/8	新聞	農経新報社	第 2 回 JPFA 国際シンポジウム
2025/11/18	2025/12/6 2025/12/13 2025/12/20 2025/12/27	ラジオ	ラジオ大阪	「サイラジ！光の未来探検」林絵理出演 第 53 回「植物工場って何？」 第 54 回「植物工場研究会って何をしているの？」 第 55 回「番組初の食レポ！植物工場の野菜はどんな味？」 第 56 回「植物工場の未来」
2026/3/5	2026/3/27	新聞	全国農業新聞	みやざき農業委員会女性ネットワークによる視察研修

その他、国内外メディア掲載多数

■プレスリリース配信

・April Dream 企画「すべての人に植物工場を」植物工場と共に持続可能な未来をつくる(PR Times, 2025/4/1)
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000123796.html>

■JPFA News 配信 2025 年度 5 回配信

- ・【JPFA News】2025 生態工学会年次大会(千葉大会)のご案内 (2025 年 6 月 24 日)
- ・【JPFA News】花葉サマーセミナー2025 のご案内 (2025 年 7 月 3 日)
- ・【JPFA News】NPO 植物工場研究会【ご案内】令和 8 年度「大胆な投資促進税制」(2026 年 1 月 22 日)
- ・【JPFA News】一社)日本薬用機能性植物推進機構 第 7 回薬用機能性植物セミナーのご案内 (2026 年 2 月 19 日)
- ・【JPFA News】GPEC2026「植物工場パビリオン」出展のご案内(申込締切:4/15) (2026 年 3 月 30 日)

■Meet the JPFA Member 2025 年度 1 回配信

- ・Meet the JPFA Member 会員紹介 vol. 25-1 |山洋電気株式会社 (2025 年 7 月 1 日)

■JPFA Weekly 2025 年度 36 回配信

- ・JPFA Weekly | April 4, 施設園芸・植物工場の実態調査報告書公開ほか/Speakers Revealed for the JPFA International Symposium and more
- ・JPFA Weekly | April 11, Agential AI AgBio 2025 の登壇予定ほか/Speakers at Agential AI AgBio 2025 and more
- ・JPFA Weekly | April 18, 2025 年度研修案内ほか/JPFA Training in English on September 3-4 and more
- ・JPFA Weekly | April 25, 古在名誉会長が春の園遊会に参加ほか/Dr. Toyoki Kozai Attended Japan's Emperor and Empress's Party and more
- ・JPFA Weekly | May 16, 研修年間予定公開、企画セミナー開催ほか/Call for Poster Presentations: JPFA International Symposium and more

- ・JPFA Weekly | May 23, 6/19 第 165 回勉強会開催予定ほか/165th Workshop in English, Registration Open for JPFA Training and more
- ・JPFA Weekly | May 30, 大麻法改正について農業誌に掲載/ JPFA Experts' Article on Cannabis Law Amendment Featured in Journal and more
- ・JPFA Weekly | June 6, Oishii Farm 東京に植物工場研究施設を開設 / Oishii Farm to Open Plant Factory Research Facility in Tokyo and more
- ・JPFA Weekly | June 13, 環境制御に関する研修ほか / Introducing Plant Factories for Visit During the Training and more
- ・JPFA Weekly | June 20, 第 165 回勉強会、2025 年度総会開催ほか / JPFA Held 165th Workshop, 2025 Ordinary General Meeting and more
- ・JPFA Weekly | June 27, 林理事長・会員が登壇@大阪万博ほか / President Hayashi and JPFA Members at World Expo in Osaka and more
- ・JPFA Weekly | July 4, ラグビー校生徒が植物工場の絵画制作、8/1 第 166 回勉強会ほか / RSJ Students' Artwork on PFALs and more
- ・JPFA Weekly | July 11, 第 166 回勉強会のご案内ほか / Training Program 2025 - Facility Visit Schedule Finalized and more
- ・JPFA Weekly | July 18, 2025 年度新規団体会員紹介ほか / Introducing FY 2025 New JPFA Organizational Members and more
- ・JPFA Weekly | August 1, 第 166 回勉強会、古在名誉会長他による論文掲載ほか / Research Paper by Dr. Kozai et al. Published and more
- ・JPFA Weekly | August 8, 小学生向け見学イベント、メロン研修開催ほか / On-site Tour Event for Kids and more
- ・JPFA Weekly | August 22, 市民向け公開シンポジウムほか / Register the JPFA Training by Aug. 28th and more
- ・JPFA Weekly | September 12, 第 2 回 JPFA 国際シンポジウムレポートほか / Report on The Second JPFA International Symposium and more
- ・JPFA Weekly | September 19, 環境制御、培養液管理研修ほか / JPFA Member Companies to Speak at J-AGRI and more
- ・JPFA Weekly | September 26, シンポジウム写真公開ほか / Symposium Photos and more
- ・JPFA Weekly | October 3, 大規模ハウス経営者を招いた研修ほか / JPFA Strawberry Training on March 5-6 and more
- ・JPFA Weekly | October 10, IHC2026@京都開催予定ほか / IHC2026 to Be Held in Kyoto and more
- ・JPFA Weekly | October 24, 祝 200 号 🎉 実態調査のお願いほか / Vol. 200 🎉 and more
- ・JPFA Weekly | October 31, 人工光型研修、センター祭ほか / ADVANCEA Course and more
- ・JPFA Weekly | November 14, シンガポール新目標、研修ほか / SG 2035 Targets, Strawberry Training - Registration Open and more
- ・JPFA Weekly | November 21, LD × 植物工場セミナーほか / Shizuoka-SG Agri Food Forum and more
- ・JPFA Weekly | December 5, ラジオで植物工場特集、1/16 勉強会ほか / Delegation from SG and more
- ・JPFA Weekly | December 12, 育種の勉強会 1/16、政府方針ほか / Update: Strawberry Course 🍓 and more
- ・JPFA Weekly | December 19, 食レポ@ラジオ、サラ民再生ほか / Article in Chronica Horticulturae and more
- ・JPFA Weekly | January 9, 農水省 WG 始動、朝日工業社 Oishii Farm へ出資ほか / Investment by Asahi Kogyosha in Oishii Farm and more
- ・JPFA Weekly | January 16, 緑色光&チップバーン論文、SG 新工場ほか / Paper on Green Light & Tipburn, SG New Farm and more
- ・JPFA Weekly | January 23, JPFA 国際シンポジウム 2026 申込開始ほか / Registration Open for JPFA International Symposium and more
- ・JPFA Weekly | January 30, 高付加価値作物への転換ほか / Special Feature on the Diversity of Horticulture and more
- ・JPFA Weekly | February 13, 「自律型施設園芸」勉強会ほか / "Autonomous Greenhouses" Workshop March 12 and more
- ・JPFA Weekly | February 27, MIRAI 海外展開加速、台湾の新工場ほか/ MIRAI's Overseas Expansion, New Plant Factory in Taiwan, and more
- ・JPFA Weekly | March 13, J リーフ子会社化、自立型スマート温室勉強会開催ほか/ Subsidiarization of J-Leaf, Autonomous Smart Greenhouse Seminar, and More and more